

ドラマ

連続ドラマW 震える牛

6月放送(予定)

食品問題を迫及した話題作、6月(予定)に連続ドラマWに登場!
食品偽装、狂牛病、大企業の隠蔽をテーマに圧倒的なリアリティで迫る衝撃の社会派サスペンス。



あなたが食べているその食品は、本当に安全なのか――。

食品問題に着眼し、そのタブーに見事に切り込んだ相場英雄の原作「震える牛」が連続ドラマWに登場する。事件を追う刑事と記者、隠蔽しようとする組織との攻防をスリリングに描く衝撃の社会派ヒューマン・サスペンス。

事件を追う刑事を演じるのは、2011年の連続ドラマW「下町ロケット」での熱き社長役が好評だった三上博史。「下町ロケット」の主演及び監督、プロデューサーが再びタッグを組んだ。ほか、小林薫、吹石一恵といったWOWOW初登場のキャストがラインナップされている。

<ストーリー>

警視庁捜査一課・継続捜査班の田川信一(三上博史)は、未解決の「中野駅前 居酒屋強盗殺人事件」に疑問を抱き、捜査を始める。事件は5年前に発生。覆面姿の犯人が店員から金を奪い、店の奥で獣医師と暴力団関係者を殺害した。初動捜査での犯人像は金目当ての外国人。被害者同士の面識はなく、それぞれひとりで待ち合わせ相手を待っているところだった。地道な聞き込みを重ねた田川は、食肉加工会社・ミートボックスにたどり着く。

さらに事件の直後、殺害された獣医師の部屋に空き巣が入り、2台のパソコンのみが盗まれていたことが発覚する。犯人の真の目的は金ではなく2人を殺害することだったのでは? 捜査を進めていく中、田川はニュースサイトの記者・鶴田真純(吹石一恵)と再会する。鶴田も、読者から得た情報をもとに“裏に顔が利く”という悪評のあるミートボックスの食品偽装疑惑を探っているところだった。

原作：相場英雄「震える牛」(小学館刊)

監督：鈴木浩介(「空飛ぶタイヤ」「下町ロケット」「推定有罪」「マグマ」)、権野元

プロデュース：青木泰憲(「空飛ぶタイヤ」「下町ロケット」「推定有罪」「マグマ」)

脚本：篠崎絵里子(「マグマ」)

音楽：羽岡佳(「下町ロケット」)、「マグマ」)

出演：三上博史、吹石一恵、平山浩行、木村文乃、温水洋一、白石美帆/竜雷太/小野寺昭、佐野史郎、古田新太/小林薫 ほか

●番組写真・資料のお問い合わせ先：Tel. 03-4330-8155 Fax. 03-4330-8156 (情報センター)

※都合により、番組タイトル、内容、放送日時を変更する場合があります。